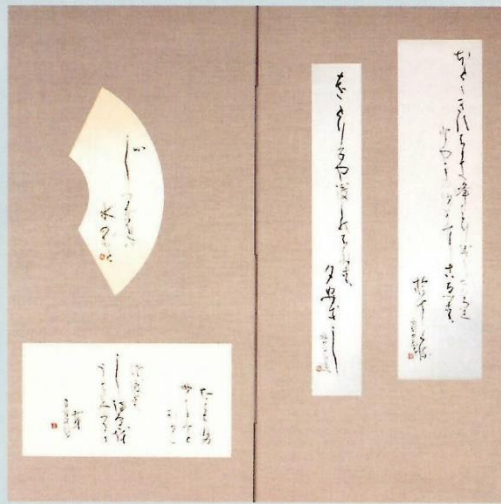




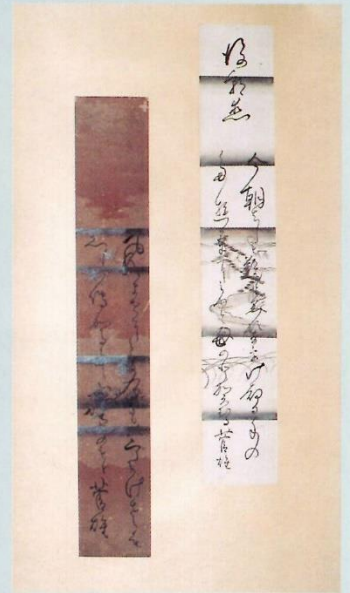
竹の図(軸装) 佐藤梅宇 筆



二行書(軸装) 三島通庸 筆



書(屏風) 佐高西舟 筆

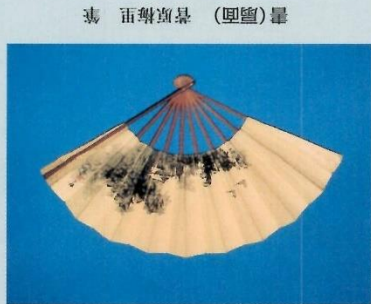


書(短冊軸装) 服部菅雄 筆

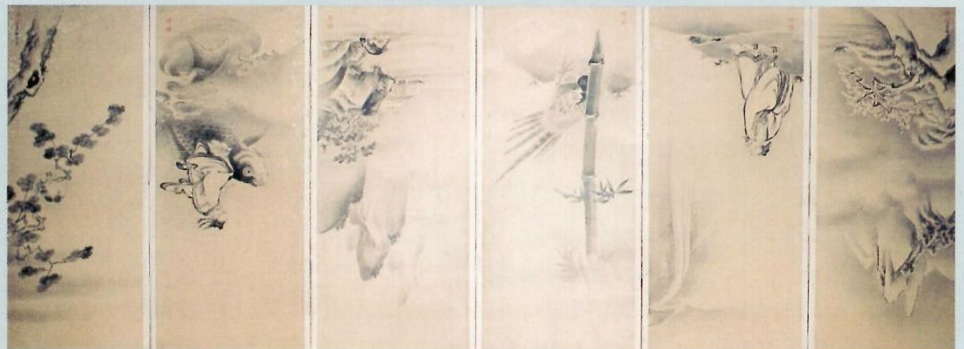
- 奥の細道 (屏風) 丸木位里 酒田市美術館
- 松林 (額装) 丸木位里 酒田市美術館
- 金峰山冬景色 (額装) 根上富治 個人蔵
- 角拓 (額装) 竹内秋鳴 個人蔵
- 山水圖 (額装) 岡田半江 本間美術館
- 山水圖 (額装) 菅原梅里 本間美術館
- 休心布袋圖 (額装) 市原丹澤 本間美術館
- 信實山縁起 (巻本) 佐高西舟 個人蔵
- 書(屏風) 狩野了承 酒田市立資料館
- 虎の図 (額装) 栗天 酒田市立資料館
- 蓮蔭圖 (額装) 佐藤梅宇 酒田市立資料館
- 竹の図 (額装) 菅原梅里 酒田市立資料館
- 五台五百羅漢圖(巻本) 菅原梅里 本間美術館
- 市原丹澤 本間美術館
- 伊藤 萬寿 酒田市立資料館
- 菅原梅里 酒田市立資料館
- 服部 菅雄 酒田市立資料館
- 須田 古龍 酒田市立資料館
- 三島 通庸 酒田市立資料館
- 二行書 (額装) 三島通庸
- 牧牛圖 (額装) 五十嵐雲嶺 酒田市立資料館
- 山水人物花鳥圖 (屏風 半隻) 筒井雲泉 酒田市立資料館
- 黒梅圖 (額装) 池田亀三郎 酒田市立資料館
- 茅屋の山水圖 (額装) 鈴木重繁 酒田市立資料館
- 残陽 (額装) 長三洲 酒田市立資料館
- 山水圖 (額装) 山口半峰 酒田市教育委員会
- 文 三洲 酒田市立資料館
- 伊藤 萬寿 酒田市立資料館
- 菅原梅里 酒田市立資料館
- 須田 古龍 酒田市立資料館
- 三島 通庸 酒田市立資料館

出品目録

山水人物花鳥圖(屏風 半隻) 筒井雲泉 筆



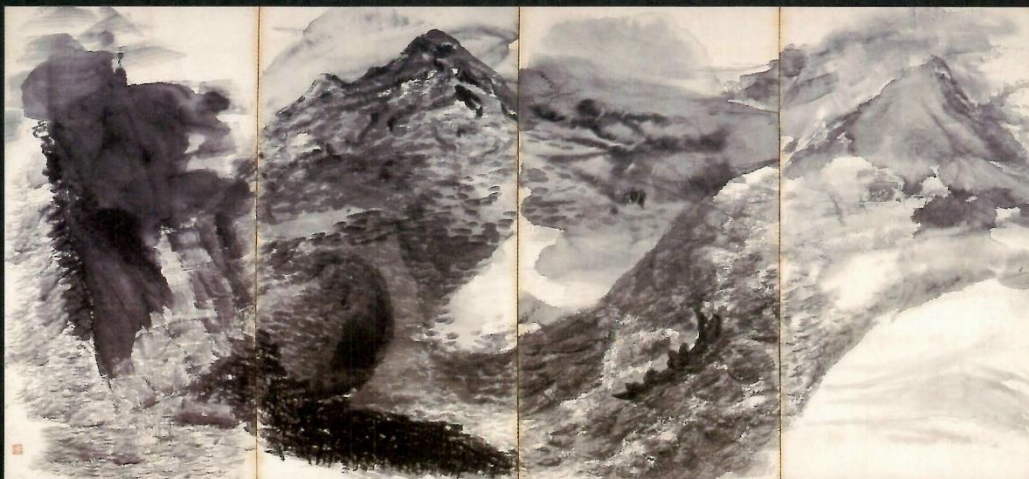
書(扇面) 服部菅雄 筆



●第120回 企画展示

墨の美

—墨一色による枯淡の世界—



開催期間/
 平成14年4月25日(木)~6月30日(日)
 開催時間/午前9時~午後4時30分
 休館日/無し
 入館料/大人100円、児童・生徒50円
 (65歳以上の方と身体障害者の方は無料)

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234) 24-6544 FAX (0234) 24-6544

奥の細道(屏風 半隻) 丸木位里 筆

開催にあたって

墨の起源は相当古く、中国の殷の時代の陶片に墨書したのが見られます。

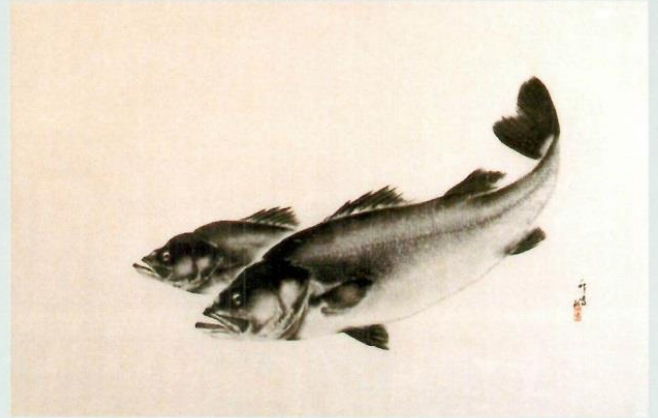
日本でも古墳時代の壁画に黒、朱、緑、黄などの彩色がすでに用いられているので、墨は相当早い時期に中国または朝鮮から輸入されていたと想像されます。

最初、墨は文字を書いたり、ものを描いたりする実用の具として使われていましたが、次第に墨の濃淡をつかっの書や水墨画が審美的な対象として意識されるようになり、墨による作品が多くの人たちに親しまれるようになってきました。

特に書は「文字を素材とした造形芸術」といわれ、独立した芸術分野の一分野であるとともに、文学や芸術と並び文化史上つねに重要な位置を占めてきました。

墨は媒煙を膠で固めたものであり、彩画の材料としては黒です。しかしながら「物」は色と形を持っており、それを墨で表現するには墨をすり下ろす量を加減したり、清水を加えて濃さを加減したり、水分を適当に融和させたりして、無限の変化を作り出し、色と形を表現するのです。

今回の企画展では、墨を使ったいろいろな作品を展示しています。今回の企画展を通して「墨の美」を再認識いただければ幸いです。開催にあたり、多くの方々からご協力をいただいたことに感謝申し上げます。



魚拓(すずき) (額装) 竹内秋鳴 拓



黒梅図(扁額) 池田亀三郎 筆



金峰山冬景色(額装) 根上富治 筆



休心布袋図(軸装) 菅原梅里 筆



虎の図(軸装) 狩野了承 筆



山水図(軸装) 岡田半江 筆



山水の図(軸装) 文隣 筆



達磨の図(軸装) 楽天 筆



五台五百羅漢図(巻本) 市原円潭 筆



信貴山縁起(巻本) 市原円潭 筆